

# 「事業者支援トレーニー制度」の概要 ～金融機関との連携深化～

## 事業の内容

### 1. 事業の目的

- ・長引くコロナ禍の影響で多くの中小企業は依然として厳しい状況にあります。
- ・地域の面的支援の強化を図るべく、協同組織金融機関（信用金庫）の中堅職員を対象とした「事業者支援トレーニー制度」を創設します。

### 2. 成果目標

- ・信用保証協会が保有する事業者支援等に関する知見・ノウハウを協同組織金融機関と共有することで、相互補完関係の強化を図ります。
- ・信用保証による迅速かつ円滑な資金繰り支援を図ります。

#### (1) 協同組織金融機関における目標

- ① 信用保証協会における経営支援業務の習得
- ② 信用保証協会における保証審査の目線合わせ

#### (2) 信用保証協会における目標

- ① 地域の事業者支援の面的、連携支援の底上げ
- ② 保証審査、経営支援の目線合わせによる業務円滑化

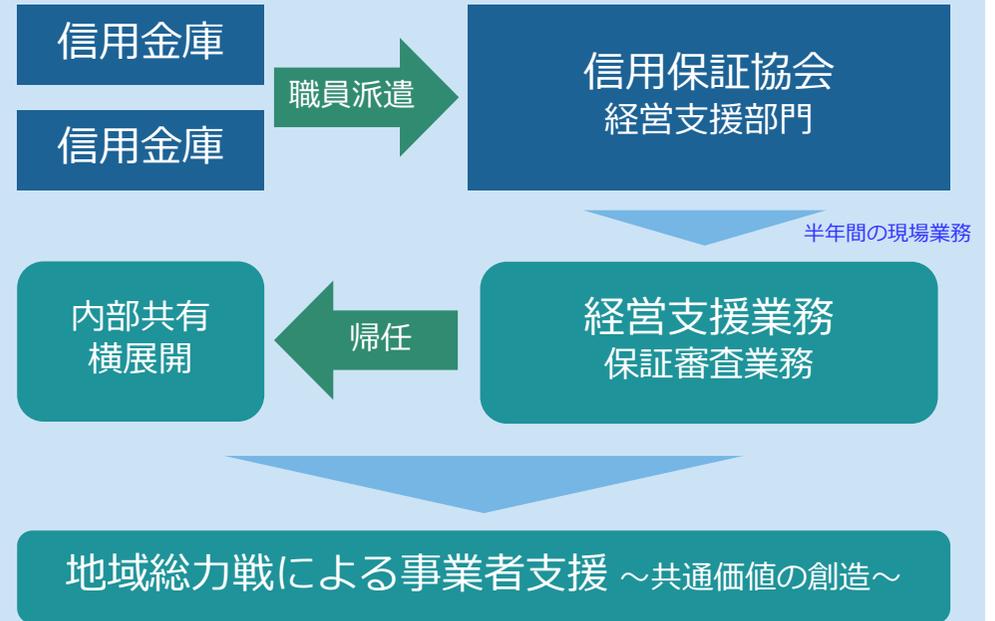
### 3. 事業の背景と経緯

- ・地域経済、地域社会を維持する存在でもある中小企業を下支え、後押ししていくには、地域の関係機関、特に地域の中小企業を支えるパートナーである地域金融機関との認識共有、意思疎通が重要と考え、令和3年8月に県内4信用金庫トップとのラウンドテーブルを開催しました。
- ・その場において、「信用保証協会の経営支援業務を学びたい。」とのご意見をいただきました。

#### 【信用保証協会の経営支援業務例】

- (1) 専門家派遣事業による経営課題の解決支援
- (2) 女性支援チーム“エクト”による伴走支援

## 事業イメージ



#### 【専門家派遣事業に係る事務の流れ】

- ① 専門家派遣の申し出（事業者・取扱金融機関）
  - ・財務諸表分析、金融機関との事前協議
- ② 企業訪問
  - ・経営者ヒアリング、現場確認
- ③ 支援検討会議（協会内部）
  - ・経営課題（仮説）の明確化、最適な専門家の選定
- ④ 専門家による経営診断、助言（同行訪問）
- ⑤ 事業者による実践、実行 ⇒ 経営改善

事業者とのリレーション形成

事業者支援の連携体制

トップの認識共有  
R3/8

実務者の意思疎通  
R3/9

若手職員の相互理解  
R3/9～12

中堅職員による推進力  
R4/4～